

令和2年3月3日に、経済産業省より、以下のとおりメッセージが発出されましたのでお知らせします。

【トイレトペーパーに係るメッセージ】

1. トイレトペーパーは、ほぼ100%国内で生産されている。このうち、国内古紙から作られるものが60%、北米・南米から輸入するパルプで作られるものが40%となっており、原料の供給にも全く問題はない。
2. 2月28日から日曜を除いて、一日あたり2000万ロールの輸送だったものを、2倍の4000万ロールに増強している。これは、一日で330万世帯に12ロール入り1パック(4人家族3週間分)のトイレトペーパーをお届けできる量。
3. 在庫も日本全体では3億5000万ロールあり、日本国民全体で3週間分のトイレトペーパーに相当する量がメーカーにある。
4. このような状態であるため、住民の皆さまには、通常どおり落ち着いてトイレトペーパーの購入をしてほしい。今日購入いただいた方は、明日、明後日、明明後日と少し購入を控えていただければ、自然といつもどおりの品揃えになる。

(参考)

○経済産業省ホームページ

<https://www.meti.go.jp/index.html>